

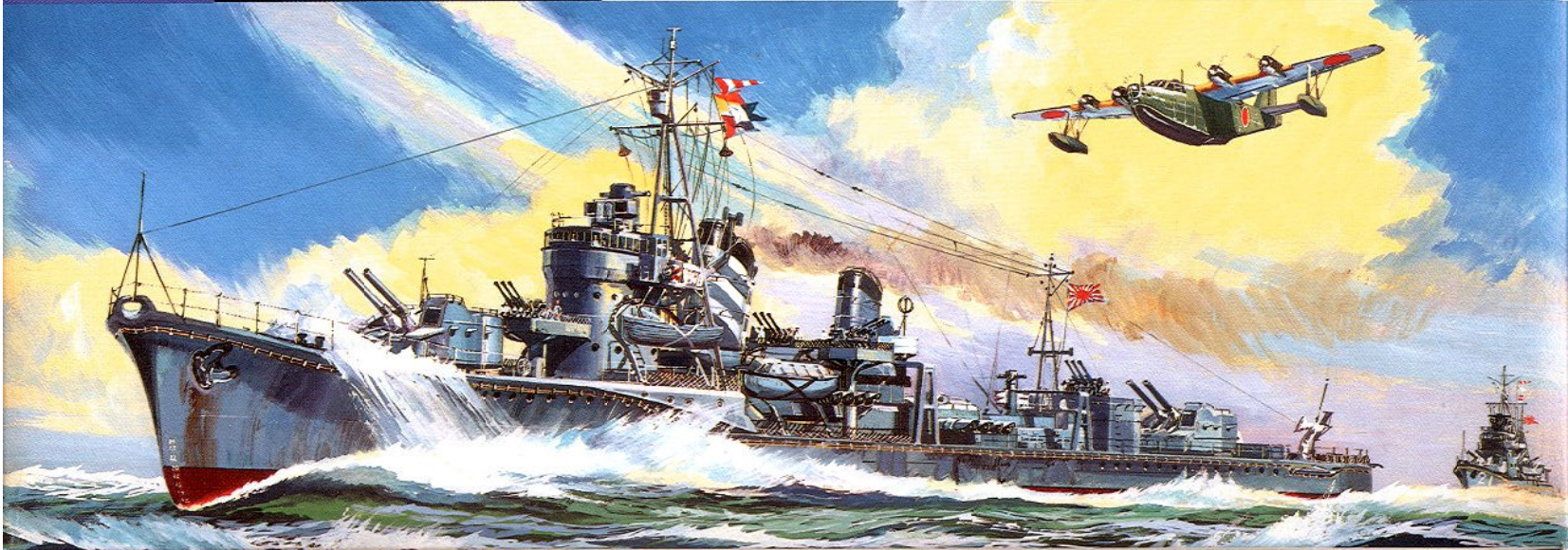
# 1/700 WATER LINE SERIES

# HARUSAME 春雨

JAPANESE NAVY DESTROYER

# ハラスーム 春雨

ウォーターラインシリーズ  
日本駆逐艦  
(はるさめ) 接着剤別売



# 1/700 WATER LINE SERIES

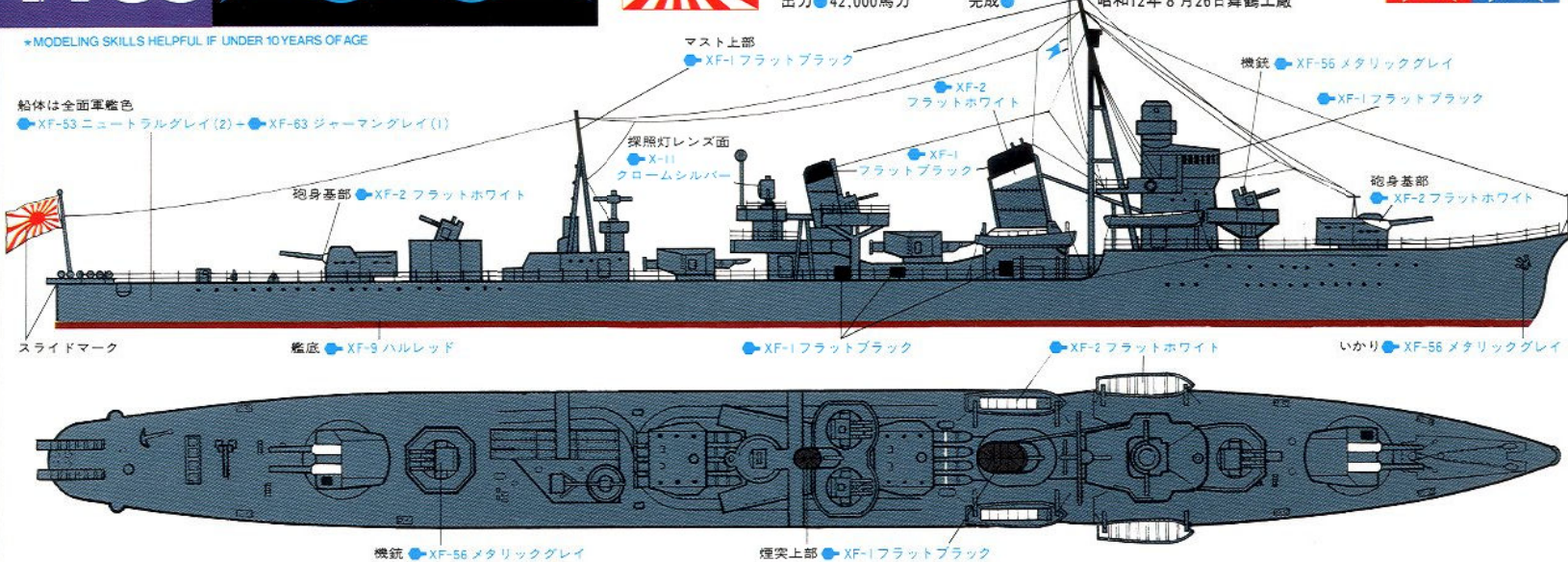


基準排水量 ● 1,685トン	速力 ● 33.3ノット
公試排水量 ● 1,980トン	魚雷発射管 ● 61センチ 4連装発射管 2基
水線長 ● 107.5メートル	主砲 ● 12.7センチ連装 2基 (改装後)
最大幅 ● 9.90メートル	機銃 ● 25ミリ 3連装 4基
出力 ● 42,000馬力	完成 ● 昭和12年 8月26日舞鶴工廠



★MODELING SKILLS HELPFUL IF UNDER 10 YEARS OF AGE

船体は全面軍艦色  
●XF-53 ニュートラルグレイ (2) ●XF-63 ジャーマングレイ (1)



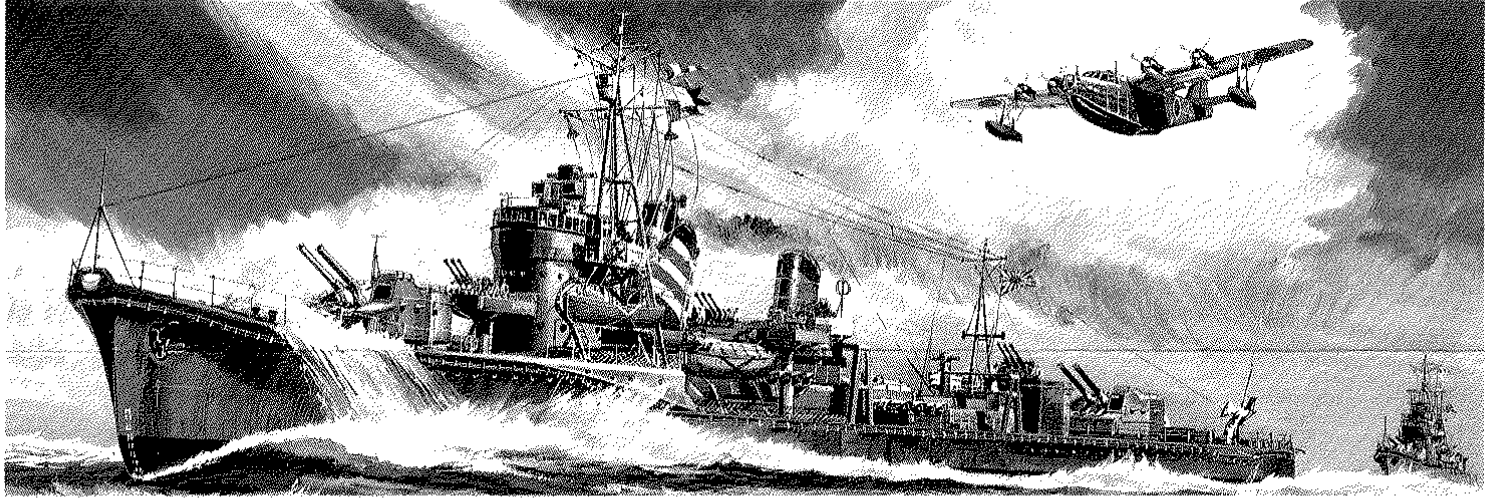
# HARUSAME

JAPANESE NAVY DESTROYER

# 春雨

ウォーターラインシリーズ  
日本駆逐艦  
(はるさめ)

ITEM 31403



イラストレーション・小松崎茂

## WATER LINE SERIES

### 駆逐艦春雨について

高性能と重装備で世界の海軍を驚かせた特型駆逐艦に続いて作られた初春型は、基準排水量、1530トンという吹雪型よりも一回り小さな船体に、12.7cm砲5門、40mm機銃2丁、61cm魚雷発射管9門を搭載した小型重兵装艦で、合計16隻建造され、24隻の特型駆逐艦と共に、水雷戦隊の主力となる予定であった。そして、春雨は予定通りならば、この初春型の第11番艦になる筈であった。

しかし、初春型は、重兵装を狙いすぎたため、復原性不足という大きな欠陥を持っており、その対策に苦心をしていた矢先の1934年3月、水雷艦友鶴の転覆事故がおきた。初春型も、同様の事故をおこす可能性が強かったため、海軍は、初春型の第7番艦以降の建造を中止し、再設計する事とした。こうして生まれたのが自衛型で、春雨は、その第5番艦として、1935年2月3日、舞鶴海軍

工廠で起工され、同年9月21日に進水、1937年8月26日竣工した。当初の計画通りならば、船体は水線長105.5m、幅10.6m、吃水3.18mになる筈であったが、再設計の結果、水線長107.5m、幅10m、吃水3.60mとなった。この数字を比較して見ればわかる通り、原設計より、細長く、吃水の深い船体となったわけである。もちろん、船体の寸法や形状の変更だけでなく、船底の外板を厚くしたり、兵器や機関の配置などを工夫したり、少しでも、安定性を向上させるための努力がはらわれている。また船体の強度を向上する事も考えられており、DS鋼という新しい鋼材を船体の一部に採用したり、電気溶接を大幅にとり入れたりしている。前述の船底外板を厚くしたことも、そのあらわれである。

武装面では、日本海軍最初の4連装魚雷発射管の採用が大きな特徴となっている。主砲は12.7cm砲5門で、対空機銃は40mm機銃2丁であった。したがって、戦闘力は、特型や竣工時の初春型よりは、やや劣るが、改装後の初春型よりは優れていた。

再設計により排水量は公試状態で2000トンを超えてしまったにもかかわらず、機関は初春型と同

じ42,000馬力であったため、速力は34~35ノットどまりであったが、航続力は18ノットで4~5000カイリで、航洋性や戦闘力を考えあわせると、同時代の外国の駆逐艦とくらべ、何等の遜色はない。

太平洋戦争開戦直後、高まってきた空からの脅威に対し対空兵装を強化、後部2番砲塔を25mm3連装対空機銃1基に換装、さらに艦橋前部に同じく25mm3連装対空機銃1基を増設、このための重量増加により多少、速度は低下したが対空兵装は強力なものとなった。春雨は同型艦のうちの村雨、夕立、五月雨とともに第2駆逐艦隊を構成、ボルネオ攻略作戦、スラバヤ沖海戦、ミッドウェー海戦、第3次ソロモン海戦などで活躍したが1944年6月、ビアク島沖で米陸軍機の攻撃により沈没、華々しい生涯を閉じた。

### 《春雨データ》

排水量	2,060トン
水線長	107.50m
馬力	42,000馬力
速力	33.3ノット
主砲	12.7センチ×4
魚雷発射管	61センチ×8
完成年月日	昭和12年8月26日 舞鶴工廠

### PAINTING

日本の軍艦の塗装は、艦体はいわゆる戦時塗色と言われる少し青みがかった濃い灰色を使っています。これは1903年(明治36年)末、日露戦争をひかえてこの塗装が採用されて以来、大戦終結までそのままです。現在の海上自衛艦の艦体色とはほぼ同じです。ただ大戦後期になって航空母艦にかぎって薄緑色を使用しました。時には迷彩塗装も使われましたが、これはねずみ色の濃淡のぬり分

けでした。吃水線以下の艦底の色は、マルーンと呼ばれる暗い赤色です。甲板は駆逐艦、軽巡が鉄板張りで艦体と同色、重巡は艦によって鉄板張り、リノリウム張り、板張り種類が違いますが、リノリウムと板張りは塗装されず、そのままです。戦艦の甲板、ほとんどの空母の飛行甲板は板張りです。細部では煙突の頂部は黒、後部マストは、上方へは煙突の頂部と同じ高さから9m、下方へ

は煙突の黒色部分の下端までと同じ幅で黒く塗装していました。菊の御紋章は金色、砲身基部やカッターなどのキャンパスのカバーは白がよいでしょう。艦尾にひらがなの艦名が真ちゅう板で付いていましたが、戦時には艦体と同色に塗りつぶされました。書き出しは右からですので注意して下さい。開戦からしばらくの間、連合艦隊所属艦は識別のために前マスト、橋楼のトップは白でした。



## WATER LINE SERIES

1. 八九式 12.7cm 連装高角砲 (X 25, X 29)  
Type 89 12.7cm Twin High Angle Gun: X25, X29
2. 三年式 12.7cm 単装砲 (X 27, X 32)  
12.7cm Single Gun: X27, X32
3. 三年式 12.7cm 連装砲B型 (X 28, X 38)  
12.7cm Twin Gun Type-B: X28, X38
4. 三年式 12.7cm 連装砲C/D型 (X 30, X 38)  
12.7cm Twin Gun Type-C/D: X30, X38
5. 二式水上戦闘機 (X 16, X 17, X 21)  
Type 2 Float Plane Fighter A6M2-N (RUFÉ): X16, X17, X21
6. 零式小型水上偵察機 (X 5, X 10)  
Type 0 Small Reconnaissance Seaplane E14Y1 (GLEN): X5, X10
7. 水上戦闘機 強風 (X 19, X 20, X 22)  
Fighter Seaplane Kyofu N1K1 (REX): X19, X20, X22
8. 特殊攻撃機 晴嵐 (X 6, X 11)  
Special Attack Seaplane Seiran M6A1: X6, X11
9. 14cm 単装砲 (潜水艦用) (X 31)  
Submarine's 14cm Single Gun: X31
10. 10cm 高角砲 (潜水艦用) (X 33)  
Submarine's 10cm High Angle Gun: X33

これはウォーターラインシリーズ用の部品セットです。各艦に装備された部品を交換して、より精密な仕上がりが楽しめます。各艦によって取付方法が異なりますので各自で加工してご使用下さい。

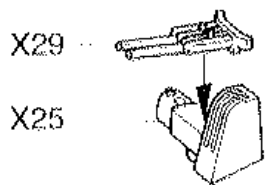
11. 8cm 高角砲 (X 34)  
8cm High Angle Gun: X34
12. 九六式 25mm 3連装機銃 (X 39)  
Type 96 25mm Triple Machine Gun: X39
13. 九六式 25mm 連装機銃 (X 40)  
Type 96 25mm Twin Machine Gun: X40
14. 九二式 4連装魚雷発射管 (X 24)  
Type 92 Quadruple Torpedo Tube: X24
15. 九〇式 3連装魚雷発射管 (X 36)  
Type 90 Triple Torpedo Tube: X36
16. 一二年式 3連装魚雷発射管 (X 37)  
Triple Torpedo Tube: X37
17. 13号レーダー (A) (X 14)  
Type 13-GO Radar (A): X14
18. 13号レーダー (B) (X 15)  
Type 13-GO Radar (B): X15
19. 22号レーダー (X 9)  
Type 22-GO Radar: X9
20. 方位探知機アンテナ (X 2)  
Radio Antenna: X2

The "X" sprue parts are for use with the 1/700 Waterline Series models. The precisely molded parts are ideal for enhancing the details of your Waterline model. ★Parts fit varies according to model. Modify if necessary.

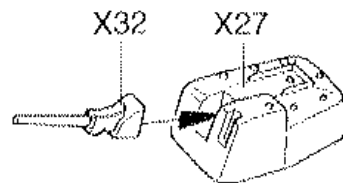
21. 94式 投射器 (X 8)  
Type 94 Depth Charge Launcher: X8
22. パラベーン (右 X 3) (左 X 4)  
Paravane Right: X3, Left: X4
23. 10m 特型運貨船 (X 12)  
10m Motor Launch: X12
24. 7m 内火艇 (X 26)  
7m Motor Boat: X26
25. 7m カッター (X 13)  
7m Cutter: X13
26. ラジアルダビッド (X 23)  
Radial Davit: X23
27. クォータラントダビッド (X 35)  
Quadrant Davit: X35
28. 70cm 探照灯 (X 1)  
70cm Searchlight: X1
29. アンカー (小) (X 7)  
Anchor (small): X7
30. 小煙突 (X 18)  
Smokestack: X18

1/700 日本海軍装備品(小型艦)

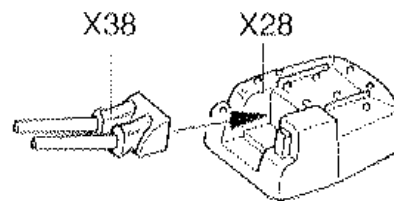
**1** 八九式 12.7cm 連装高角砲  
Type 89 12.7cm Twin High Angle Gun



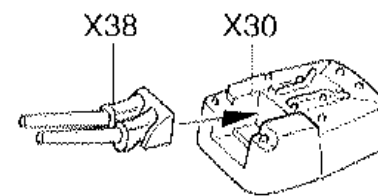
**2** 三年式 12.7cm 単装砲  
12.7cm Single Gun



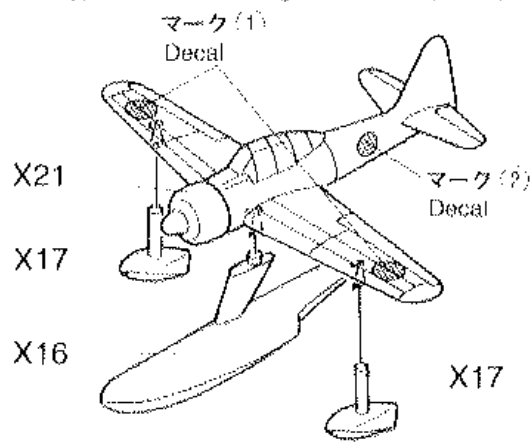
**3** 三年式 12.7cm 連装砲B型  
12.7cm Twin Gun Type-B



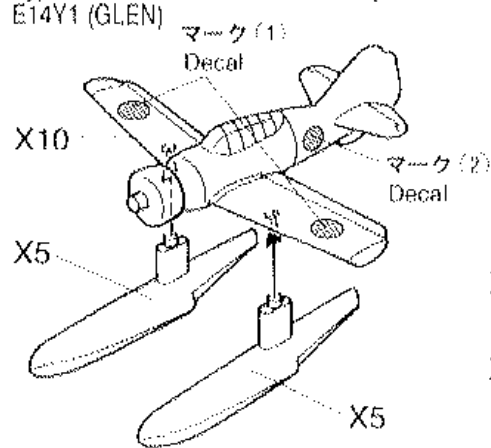
**4** 三年式 12.7cm 連装砲C/D型  
12.7cm Twin Gun Type-C/D



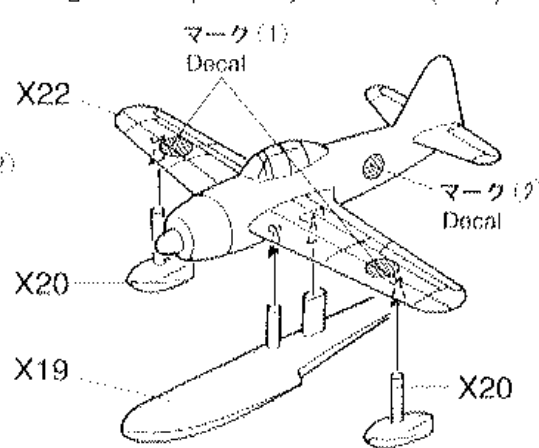
**5** 二式水上戦闘機  
Type 2 Float Plane Fighter A6M2-N (RUFE)



**6** 零式小型水上偵察機  
Type 0 Small Reconnaissance Seaplane  
E14Y1 (GLEN)



**7** 水上戦闘機 強風  
Fighter Seaplane Kyofu N1K1 (REX)



**8** 特殊攻撃機 晴嵐  
Special Attack Seaplane Seiran M6A1

